

令和元年（2019年）11月1日

政策創造課長 竹之内

電話 0467-23-3000（代表）

内線 2791

## 鎌倉版「スマートシティ」の構築に向けて

鎌倉版「スマートシティ」の構築に向け、11月1日付けで特命担当を設置し、実現に向けた取組を本格化させます。

### 1 背景

#### 昨今

の技術革新をめぐる世界的な潮流を背景に、日本でも「第4次産業革命の技術革新を、あらゆる産業や社会生活に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する Society 5.0 を世界に先駆けて実現する」という方向性が、政府から示されています。

これを受けて国内では、先端技術やデータを活用し、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、人口減少・少子高齢化等の各種社会課題を克服して市民生活に快適性や利便性などの新たな価値を創出するまちづくり、「スマートシティ」の構築が求められています。

### 2 鎌倉市における動き

本市では、このような社会環境の変化（進化）に合わせ、人にやさしいテクノロジーの活用によって本市が抱える社会課題を解決し、人間中心の共生社会を築いていくことを目指す鎌倉版「スマートシティ」の構築に向けた取組を、令和2年度からスタートする第4期基本計画に位置づけます。

このため、11月1日付けで、共創計画部政策創造課に「スマートシティ担当」を設置し、現在策定中の実施計画への位置づけや、各課が所管する個別事業との連携を全庁的に図り、鎌倉版「スマートシティ」の構築を目指すものです。

### ※スマートシティとは

ICT(情報通信技術)や AI(人工知能)などの先端技術や、人の流れや消費動向、土地や施設の利用状況といったビッグデータを活用し、エネルギーや交通、行政サービスなどのインフラ(社会基盤)を効率的に管理・運用する都市の概念。環境に配慮しながら、住民にとって、よりよい暮らしの実現を図る。

※第四次産業革命とは

第四次産業革命とは、18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の機械化である第一次産業革命、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産である第二次産業革命、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いた一層のオートメーション化である第三次産業革命に続く、IoT、ビッグデータ、AIを軸とする技術革新を指す。

第四次産業革命の技術は全ての産業における革新のための共通の基盤技術であり、様々な各分野における技術革新・ビジネスモデルと結びつくことで、全く新たなニーズの充足が可能になる。(フィンテック等)

(内閣府HP及び経済産業省「産業構造部会 新産業構造部会における検討内容」より)

※Society5.0とは

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。